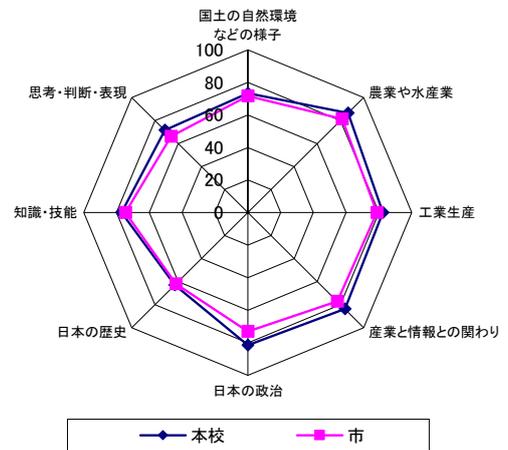


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	73.3	71.6	67.5
	農業や水産業	86.4	81.5	82.1
	工業生産	82.4	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	83.8	77.2	68.2
	日本の政治	81.5	73.1	77.9
	日本の歴史	63.0	62.0	65.8
観点別	知識・技能	77.0	74.6	74.5
	思考・判断・表現	71.6	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<p>○本領域の平均正答率は73.3%で、市の正答率を1.7ポイント上回った。</p> <p>○「日本の周辺の海洋名について理解している」の平均正答率は89.8%で、市の正答率を4.1ポイント上回った。</p> <p>●「日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに、地図を読み取っている」の平均正答率は、市の正答率と同程度であったが、37.0%であった。</p>	<p>・国土周辺の様子について、概ね理解できている。しかし、日本の主な地形の名称と位置についての理解が不十分なので、地図を積極的に活用し、国土の地形に興味をもたせ、理解に繋げていく。</p>
農業や水産業	<p>○本領域の平均正答率は86.4%で、市の正答率を4.9ポイント上回った。</p> <p>○「都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに、適切な地図を判断している」の平均正答率は、85.2%で、市の正答率を5.6ポイント上回った。</p> <p>○「カントリーエレベーターについて理解している」の平均正答率は90.7%で、市の正答率を8.2ポイント上回った。</p>	<p>・農業や水産業について理解が深まっている。その土地の気候に適した作物を栽培していることを基に、地方の特産物への興味をもたせたり、食料を安定して確保するためにはどのような取組が必要かを考えたりできるよう指導していく。</p>
工業生産	<p>○本領域の平均正答率は82.4%で、市の正答率を3.7ポイント上回った。</p> <p>○「自動車工場の作業工程について理解している」の平均正答率は96.3%で、市の正答率を3.7ポイント上回った。</p> <p>●「キャリアカーと船に着目して、自動車の出荷の工夫を捉え、表現している」の平均正答率は、市の正答率を4.5ポイント上回っているが66.7%であった。</p>	<p>・工業生産について、概ね理解できている。キャリアカーと自動車専用船のそれぞれの特徴を復習し、自動車の出荷の工夫について理解を深めさせる。</p>
産業と情報との関わり	<p>○本領域の平均正答率は83.8%で、市の正答率を6.6ポイント上回った。</p> <p>○「メディアの特徴を理解している」の平均正答率は96.3%で、市の正答率を4.6ポイント上回った。</p> <p>○「資料に着目して、コンビニエンスストアの発注システムについて捉え、判断している」の平均正答率は71.3%で、市の正答率を8.5ポイント上回った。</p>	<p>・産業と情報との関わりについて理解が深まっている。NHKの放送資料などを活用したり、情報を活用していることが分かる新聞記事やホームページを紹介したりすることで、くらしの中で情報がどのように活用されているかについて、興味をもたせるように働きかけていく。</p>
日本の政治	<p>○本領域の平均正答率は81.5%で、市の正答率を8.4ポイント上回った。</p> <p>○「基本的人権の尊重について、生活の中の具体的事例をもとに判断している」の平均正答率は91.7%で、市の正答率を6.9ポイント上回った。</p> <p>○「税金について理解している」の平均正答率は91.7%で、市の正答率を10.9ポイント上回った。</p> <p>○「図に着目して、国民による政治の仕組みを判断している」の平均正答率は63.0%で、市の正答率を13ポイント上回った。</p>	<p>・日本の政治について、概ね理解できている。国民がどのようにして政治に参加することができるのか、インターネットで調べたり、模擬選挙を体験したりすることで、興味をもって学ぶことができるように支援していく。</p>
日本の歴史	<p>○本領域の平均正答率は、63.0%で、市の正答率を1.0ポイント上回った。</p> <p>○「北条政子の訴えについての理解をもとに、年表を読み取っている」の平均正答率は70.4%で、市の正答率を7.6ポイント上回った。</p> <p>●「大和朝廷について理解している」の平均正答率は54.6%で、市の正答率を10.1ポイント下回った。</p> <p>●「鎌倉幕府が置かれた場所の資料を読み取っている」の平均正答率は62.0%で、市の正答率を2.8ポイント下回った。</p>	<p>・大和朝廷について理解が不十分なので、NHKの放送資料などを活用し、理解させていきたい。</p> <p>・鎌倉幕府がどのような場所に置かれたのか、地図帳で地形の特徴を確認したり、周辺地域の人物との関わりについて気付かせたりすることで、源頼朝がなぜ鎌倉という場所を選んだのか理解させる。</p>